

3 放課後児童クラブ待機児童の解消に向けて

待機児童の解消に向け、新施設設置などを積極的に推進

本市では市全体の児童数は減少傾向にありますが、放課後児童クラブの利用希望者は増加傾向にあります。

児童クラブは、基本的に空き教室を利用しています。待機児童が発生している学区においては、ほとんど空き教室が無い状況となっていますが、クラブ新設以外にも特別教室などを利用して待機児童の削減に取り組んでいます。

1 待機児童数の推移 (各年度 4月1日現在)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
待機児童数	85人	90人	85人	148人	60人

2 状況

- 令和5年度において、待機児童が発生している小学校は10校
- そのうち、10人以上の待機児童が発生している小学校は3校
※最も待機の多い小学校は13人、最も少ない小学校は1人
- 児童クラブは基本的に空き教室を利用する事業であるが、待機児童が発生している小学校では、ほとんど空き教室が無い状況

3 待機児童解消に向けての取組

- 令和4年7月に待機児童数の多い学区に民間児童クラブが新設
※対象学区：富士見小、磐田北小
- 令和5年度から、待機児童数が多い青城小に3カ所目の児童クラブを増設
※40人定員
- 磐田南小 → 既存のクラブ室内を拡張し定員を10人増
- 放課後のみ特別教室を利用して実施
 - ①豊岡北小 → パソコン室
 - ②大藤小 → 音楽室
 - ③向笠小 → 被服室

※児童クラブ増設には、支援員の確保（勤務時間などが特殊なため集まりにくい）も必要であり、増加率や待機児童数などから優先順位を付けて対策を実施しています。

4 今後に向けて

民間児童クラブなどとも連携しながら、待機児童数の多い学区を中心にクラブ増設の検討も進め、待機児童ゼロを目指していきます。